

補助事業番号 26-4-010
補助事業名 平成26年度 (復興支援) 被災者や被災地域が行う復興活動補助事業
補助事業者名 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

『忘れない』ことが一番の防災になると考え、また『希望』が復興の足がかりになると考え事業を実施している。

願いを込めた桜風船づくりワークショップや桜花火を打ち上げることにより、鎮魂だけではなく未来に向けての希望を育てている。また、桜バトンレター(ビデオレター)を植樹する学校でつなぎ、子どもたちの新たなつながりを作る。

植樹した桜がセーフティラインとなって、後々子どもたちを津波から守る道標となることを目指している。また報告事業は、被災地以外で『思い出す=忘れない』機会をつくり、社会全体に防災への意識を高める役割をもつ。

植樹した桜と関連の事業が、恒久的な『忘れない』ための仕掛けとなる。

(2) 実施内容

①桜3.11学校プロジェクトの実施

26年度、桜3.11学校プロジェクトは岩手県山田町立大浦小学校、宮城県石巻市立釜小学校、福島県南相馬市太田小学校で実施した。関連事業は、普段では経験できないプロの美術家によるワークショップを、学校の要望に応じて実施した。引き続き、毎年3カ所での実施を計画している。(27年度は宮城県石巻市立石巻小学校他2校を予定)



大浦小土淵小による植樹式



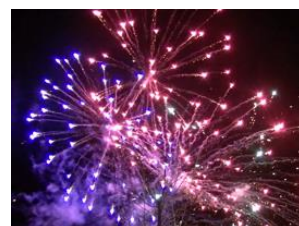
釜小風船 WS と花火



大浦小 WS



太田小 WS と植樹式



(別紙4)

HP : AAPA (<http://www.aapa-japan.com/ja/>)

- ・ HP : Sakura 3.11 Project (<http://sakura-art311.net/>)
- ・ FB: Sakura 3.11 School Project (<https://www.facebook.com/sakura311school/>)

②桜3.11学校プロジェクトの報告

被災地の活動に留まらず、広くこの活動を知ってもらうことも「忘れない」事の一つと考え各地での報告事業を行っている。4月20日の六本木アートナイトでは、1,000人を超える来場で成人を中心に多くの人に知ってもらう機会となった。

夏は、美術館等でこども～大人を対象とした展示の機会を得た。10月18・19日は多数のボランティア団体との交流の場で報告展示を行い、11月1日のトークイベントではより深く事業を知ってもらう機会となった。

また、実施10回をまとめる小冊子を作成し関係者支援者に配布した。

2 予想される事業実施効果

震災から4年が経ち一層震災の記憶と関心が薄れる中、改めて『忘れない』ことへの取り組みや仕組みが重要になっている。『忘れない』ことは備えることにつながると考え、今後想定される南海トラフ大地震や火山噴火等への防災意識の向上に役立つと考える。

また、被災地は未だ先の見えない復興の途中にあることから、未来への希望を育む事業は今後一層必要になると考える。その意味から、対象者をこども達とした本事業の役割は大きいと考える。また、こどもが元気になることより地域社会への広い波及効果も期待される。

AAPAメンバーの協力を得ながら幅広い活動と成果を期待することができるのも大きな利点と考えます。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

小冊子「桜3.11学校プロジェクト 2012.3.2潮見小学校～2015.3.16太田小学校」



(別紙4)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

<http://www.aapa-japan.com/ja/>

<http://sakura-art311.net/diary/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会
(イッパノシヤクアンホウジノアートアンドパブリックキョウカイ)

住 所： 〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-14-15 松川BOX A棟

代 表 者： 理事長 清水敏男 (シミズトシオ)

担 当 部 署： 仙台事務局 (センダイジムキョク)

担 当 者 名： 事務局スタッフ 村上真理子 (ムラカミマリコ)

電 話 番 号： 070-6955-5539

F A X： 022-221-4111

E - m a i l： marikom@zb.cyberhome.ne.jp

U R L： <http://www.aapa-japan.com/ja/>